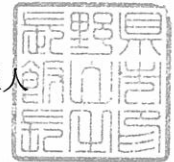




道 第 2 6 号  
平成19年5月 7日

国土交通省道路局長 殿

飯山市長 石田 正人



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付 国道企第114号でご依頼のありました標記の件について、下記のとおり提出します。

#### 記

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
  - ・ 地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路の整備
  - ・ 通勤、通院などの日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備
  - ・ 大雨・大雪や地震などの災害、重大事故などへの備え（避難路の整備・橋の補強・雪崩予防柵の設置等）
2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
  - ・ 事業の開始前や途中段階で必要性をチェックするなど事業ごとの評価を徹底する。
  - ・ 道路の建設や管理にかかるコストをもっと減らす努力をする（工法の工夫や新技術の活用等）
  - ・ 事業の実施にあたって、早い段階から国民の考えや意見が十分に反映されるような取組みをもっと行う。
3. 当地域で、道路に関して無駄と感ずること。
  - ・ 国道（403）、県道（上越・飯山線、飯山・新井線）とは名ばかりで、冬期間は閉鎖されており、更に道路幅員も狭く新潟県との交流に支障をきたしております。当地域の発展のためには、無くてはならない道路であり、中途半端な道路は税金の無駄遣いと感じておりますので経済効果が出る様、改良を促進するべきと考えています。
4. その他
  - ・ 道路整備に対するニーズを踏まえ、道路特定財源を必要な道路整備に使用していただくことを強く要望します。

以上